

(平成19年10月分)

| 部 門 | 市況の概要   |
|-----|---|
| 野 菜 | <p>10月期の野菜の入荷状況については、中旬までの日中の気温が高かったため、野菜全般に生育不良となり品目によっては、前進出荷となったものや出荷が遅れたものなど非常に不安定な入荷状況となった。</p> <p>結果として、入荷量は前年同期を3%下回った。</p> <p>価格は、不安定な入荷状況と下旬からの気温の低下により、終始高値で推移し、結果として、前年同期を16%上回った。</p> <p>品目別には、長大根、ほうれんそう、レタス、きゅうり、なす、トマト、ピーマンが入荷減の単価高で推移し、松茸は、入荷減ながら単価安となった。また、きゃべつ、ばれいしょは入荷増の単価安で推移し、白菜は入荷増ながら単価高となった。たまねぎは、入荷は前年並みで、単価安となった。</p> <p>根菜類は、入荷が3%減少し、価格は20%高となった。</p> <p>葉菜類は、入荷が5%減少し、価格は35%高となった。</p> <p>果菜類は、入荷が9%減少し、価格は18%高となった。</p> <p>土物類は、入荷が5%増加し、価格は10%安となった。</p> |
| 果 実 | <p>10月期の果実の入荷状況は、全国的に、10月に入っても9月から残暑が引続き日中が高温傾向で推移したため、今から本番を迎える柿・りんご・早生みかん等で着色不良による出荷の遅れや品質の低下が見られ、入荷は不安定となり減少傾向であった。結果として、入荷量は前年同期を3%下回った。</p> <p>価格は、不安定な入荷状況による品薄傾向から、前年同期を6%上回った。</p> <p>品目別には、極早生みかん、アールスメロンが入荷増の単価安で推移し、刀根柿は、入荷増ながら単価高となった。また、津軽りんご、富有柿、巨峰は、入荷減の単価高で推移し、ふじりんごは、入荷減ながら単価は前年並みとなった。</p> <p>柑橘類は、入荷が18%増加し、価格は10%安となった。</p> <p>りんごは、入荷が16%減少し、価格は6%高となった。</p> <p>柿は、入荷が12%減少し、価格は9%高となった。</p> <p>ぶどうは、入荷が4%減少し、価格は16%高となった。</p> <p>メロンは、入荷が27%増加し、価格は11%安となった。</p>  |

| 主要品目（野菜）              | 市況の概況   |
|-----------------------|---|
| <p>【根菜類】<br/>長大根</p>  | <p>北海道を中心に石川県，青森県，福井県からの入荷。北海道産の切上がりが早かったことに加えて，石川県，福井県産は太りが悪く，入荷量は，前年同期を6%下回った。<br/>価格は，入荷減の中で，2L・L中心に販売環境が良く，結果として，前年同期を56%上回った。</p>                                      |
| <p>洋人参</p>            | <p>北海道を中心とする入荷。2L，Lサイズ中心に順調な入荷となったが，下旬以降は早い切上がりから入荷が減少した。結果として，前年同期を4%上回った。<br/>価格は，入荷増によって，前年同期を18%下回った。</p>   |
| <p>【葉菜類】<br/>はくさい</p> | <p>長野県を中心に一部茨城県，滋賀県からの入荷。長野県産の生育遅れとなっていた作柄と11月計画生産分の前進出荷によって，前年を上回る入荷となった。結果的に，前年同期を3%上回った。<br/>価格は，入荷増ながら，下旬以降の気温の低下に伴って，一般消費・加工業務ともに急激に引合いが強まったことから，結果的に前年同期を54%上回った。</p> |
| <p>キャベツ</p>           | <p>群馬県，長野県を主力に茨城県からの入荷。各産地ともに作柄は良好で，前進出荷となったことから結果的に，前年同期を3%上回った。<br/>価格は，入荷増に加え，前年が高値推移であったことから，結果的に前年同期を4%下回った。</p>   |
| <p>ほうれんそう</p>         | <p>岐阜県を中心に京都府，滋賀県，群馬県からの入荷。各産地ともに高温早魃の影響を受け，入荷は減少した。結果的に前年同期を19%下回った。<br/>価格は，入荷減から単価高で推移し，前年同期を71%上回った。</p>  |
| <p>レタス</p>            | <p>長野県，茨城県を中心に一部兵庫県からの入荷。長野県産は前進出荷で切り上がりも早く，今月に入荷は減少した。また，茨城県産は，早出し物での虫害の発生から産地廃棄したところもあり，結果的に入荷量は，前年同期を27%下回った。<br/>価格は，恒常的な品薄傾向にあって，高値推移となり，結果的に前年同期を42%上回った。</p>         |

|                                    |  |
|------------------------------------|--|
| <p>【果菜類】<br/>きゅうり</p>              | <p>北海道を中心に滋賀県，宮崎県，福岡県からの入荷。北海道，福岡県産は，高温障害によって生育に遅れが生じ，また，後続産地の宮崎県産なども出荷に遅れが生じたため，結果的に入荷量は，前年同期を18%下回った。<br/>価格は，入荷減によって，前年同期を65%上回った。</p>  |
| <p>なす</p>                          | <p>京都府を中心に高知県，岡山県からの入荷。主力の京都府産が終期を迎え，切上がりが早く，入荷量が減少した。結果的には前年同期を8%下回った。<br/>価格は，入荷減によって，前年同期を15%上回った。</p>  |
| <p>トマト</p>                         | <p>岐阜県，北海道を中心に茨城県からの入荷。夏秋産地の岐阜県産については，夜温の低下とともに着色に遅れが生じ，出荷量が減少した。また，秋冬産地の熊本産についても，夏場の猛暑の影響を受け，低段の着果が悪く予想外の入荷量の減少となった。結果的に前年同期を11%下回った。<br/>価格は，入荷減に加え，中旬までの気温が高く推移したことから販売環境は好調となり，結果として，前年同期を12%上回った。</p> |
| <p>ピーマン</p>                        | <p>大分県，宮崎県，茨城県を中心に入荷。8月以降の高温の影響から，各産地ともに出荷量が伸びず，結果的に前年同期を18%下回った。<br/>価格は，入荷減によって，前年同期を17%上回った。</p>  |
| <p>【土物類】<br/>ばれいしょ<br/>(メーク含む)</p> | <p>北海道を中心とする入荷。北海道の栽培面積の拡大に加え，生育も順調でメークを中心に大玉傾向となったことから，前年同期を13%上回った。<br/>価格は，入荷増によって，前年同期を22%下回る結果となった。</p>   |
| <p>たまねぎ</p>                        | <p>北海道を中心に兵庫県からの入荷。作柄は良好で順調な入荷となった。全体としては前年並みとなった。<br/>価格は，高温による消費低迷と昨年が高値推移であったことから，前年同期を22%下回る結果となった。</p>  |
| <p>まつたけ</p>                        | <p>中国産を中心に韓国産の入荷。国内産においては，岩手県産，長野県産が出遅れながらも順調に入荷したが，関西を中心とする産地は，早魃により極めて不作となった。また，主力の中国産は，入荷量は前年から少なくなっており，前年同期を4%下回った。<br/>価格は，入荷減ながら，中国産の安全性の問題に対する消費者の不安から消費が低迷し，前年同期を6%下回った。</p>                       |

| 主要品目（果実）      | 市況の概況  |
|---------------|--|
| 極早生みかん        | <p>和歌山県，福岡県を中心に佐賀県からの入荷。高温早魃の影響から小玉中心の入荷となったが，昨年が極端な入荷減であったことから，前年同期を17%上回った。</p> <p>価格は，入荷増によって，前年同期を10%下回った。</p>                                     |
| 津 軽<br>（サン含む） | <p>青森県を中心に岩手県からの入荷。着色の遅れから各産地ともに出荷が遅れた。また，軟質果の発生等もあって市場出荷が著しく減少した。結果的に前年同期を23%下回った。</p> <p>価格は，りんご全体の出遅れによる入荷減から高値で推移し，前年同期を7%上回った。</p>                |
| ふ じ<br>（サン含む） | <p>青森県を中心に長野県からの入荷。早生ふじを主とした入荷となったが，りんご全体の出遅れによる入荷減によって結果的に前年同期を33%下回った。</p> <p>価格は，入荷減ながら前年並みとなった。</p>  |
| 富有かき          | <p>奈良県を中心とする入荷。10月に入ってから上中旬が高温続きで，色つきが悪く入荷量は極端に少ない状況であった。結果的に前年同期を46%下回った。</p> <p>価格は，入荷減によって，前年同期を7%上回った。</p>   |
| 刀根かき          | <p>和歌山を中心とする入荷。9月の高温・早魃により着色不良で出荷遅れとなっていたものが10月になって入荷し，結果として入荷量は前年同期を32%上回った。</p> <p>価格は，入荷増ながら，大玉傾向で単価高で推移し，前年同期を9%上回った。</p>                          |
| 巨 峰           | <p>長野県を中心に山梨県からの入荷。先月までの前進出荷から今月は入荷が減少した。結果として，前年同期を11%下回った。</p> <p>価格は，入荷減によって，前年同期を15%上回った。</p>  |
| アールス          | <p>静岡県を中心に茨城県，石川県，鳥取県，愛知県からの入荷。静岡県産，愛知県産は作付けが減少し入荷減となったが，茨城県産，鳥取県産は作柄も良好で順調に入荷した。結果として入荷量は，前年同期を18%上回った。</p> <p>価格は，入荷増に加え，業務筋の需要が伸びず前年同期を13%下回った。</p> |
| く り           | <p>京都府，愛媛県を中心とする入荷。各産地ともに夏場の高温早魃の影響から収穫量は少なく，入荷量は前年同期を9%下回った。</p> <p>価格は，入荷減によって，前年同期を29%上回った。</p>   |